

2015年 8月 24日

報道関係者各位
プレスリリース



WEB会議システム「VQS collabo Business」
交流Lタイプリリース

最大15拠点映像同時配信と同時会話を実現
高解像度ディスプレイに対応した映像フルスクリーン機能

VQSマーケティング株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：向井 猛彦）は、WEB会議システムVQS collabo Businessの交流Lタイプクライアントソフトを、2015年8月24日（月）にリリースしました。

最大15拠点の映像同時配信と同時会話、高解像度ディスプレイの表示に対応。

従来のVQS collabo交流タイプが、会議の議長（※1）を含め6拠点の同時発言・映像配信が最大であったのに対し、交流Lタイプでは最大15拠点の同時発言・映像配信を行えるようになりました。また、映像配信枠が6枠または1枠拡大表示であったのに対し、交流Lタイプでは2、4、6、9、12、15枠または1枠拡大と表示パターンを変更できるようになりました。

また、議長が、会議に対して固定であったのに対し、交流Lタイプでは議長を会議中に自由に変更できるようになりました。くわえて会議の参加者以外の方がVQSコラボの操作を支援できるように、視聴席（※2）から議長操作（※3）を行えるようになりました。

今回のリリースにより、多人数同時発言を行うグループディスカッションや、多くの拠点から参加がある会議、研修会やセミナーに幅広いご利用が可能になりました。また、会議中に、議長が中座する場合や、議題によって議長を交替する場合、また操作に不慣れな議長へ支援を行うことが可能になりました。

VQSマーケティングは、今後も、これまで培った経験をもとにお客様に最適な遠隔コミュニケーションをご提案してまいります。

（注釈）

- ※1・・・VQSコラボでは、会議主催・進行に関する権限を「議長」が所有します。
- ※2・・・VQSコラボでは、会議において映像配信および発言を行うことができる「発言席」と視聴のみ行える「視聴席」があります。視聴席の参加者（視聴者）が発言を行いたい場合は、発言要求ボタンを押下することで議長へ合図を送ることができ、議長は発言席と視聴席を入れ替えることができます。
- ※3・・・議長となった参加者は、ホワイトボードやビデオ配信などの機能を利用して会議を進行します。発言者と視聴者の入れ替えや通信環境悪化時の通信帯域変更、他の参加者の遠隔音量調整など、状況に応じて会議の進行の支援を行うことができます。

図1 交流タイプ・交流Lタイプ比較

	交流タイプ	交流Lタイプ
最大接続数（参加者）	31	31
映像付同時発言（発言席）	6	15
映像枠表示パターン	6 枠または 1 枠拡大	2、4、6、9、12、15 枠 または 1 枠拡大
議長の変更	－	○
議長の視聴席移動	－	○

図2 交流Lタイプ画面イメージ

議長（Windows）



議長（iPad）



○交流Ｌタイプご利用イメージ

（１）会議利用 議長を参加者で回していく場合

Aさん：会議主催者（本店）

Bさん：B支店

Cさん：C支店

全員：会議開始予定時刻に、全員が会議室に入室します。

Aさん：会議開始の挨拶

ホワイトボードに会議のアジェンダを表示しながら説明を行います。

Bさんに議長を交代します。

Bさん：ホワイトボードにB支店の会議資料を表示しながら発表を行います。

他拠点からの質問対応を行い、発表を終えます。

Cさんに議長を交代します。

Cさん：ホワイトボードにC支店の会議資料を表示しながら発表を行います。

他拠点からの質問対応を行い、発表を終えます。

Aさんに議長を交代します。

Aさん：発表内容をまとめ、会議を終了します。

全員：会議終了とともに、会議室から退室します。

（２）会議利用 議長である会議主催者が中座する場合

Aさん：会議主催者（本店）

Bさん：B支店

Cさん：C支店

全員：会議開始予定時刻に、全員が会議室に入室します。

Aさん：会議開始の挨拶

ホワイトボードにアジェンダを表示します。

ホワイトボードに会議資料を表示し、各拠点の意見をまとめながら

アジェンダに沿って会議を進行します。

中座のため、Bさんに議長を交代します。

会議室から退室します。

Bさん：ホワイトボードに会議資料を表示し、各拠点の意見をまとめながら

アジェンダに沿って会議を進行します。

会議内容をまとめ、会議を終了します。

全員：会議終了とともに、会議室から退室します。

（３）会議利用 操作に不慣れな議長を支援する場合

Aさん：会議主催者（本店）

Bさん：B支店

Cさん：C支店

Dさん：会議支援者

全員：会議開始予定時刻に、全員が会議室に入室します。

Dさん：視聴席へ移動します。

Aさん：会議開始の挨拶

各拠点の意見をまとめながら

アジェンダに沿って会議を進行します。

Dさん：Aさんの会議進行に合わせて

VQSコラボの操作を支援します。

ホワイトボードへの会議資料の表示や、

発言要求を行っている視聴席の参加者を発言席へ移動するなど

必要に応じて操作を行います。

Aさん：会議内容をまとめ、会議を終了します。

全員：会議終了とともに、会議室から退室します。

（４）セミナー利用 セミナーの他会場配信を行う場合

A拠点：セミナーメイン会場

B拠点：セミナーサテライト会場

全拠点：セミナー開始予定時刻前に、会議室に入室します。

A拠点の映像をフルスクリーン表示します。

A拠点：セミナー開始予定時刻に、セミナーを開始します。

セミナー内容に合わせて進行します。

B拠点より質問を行う場面ではB拠点の映像をフルスクリーン表示します。

セミナーを終了します。

全拠点：セミナー終了とともに、会議室から退室します。

○会議に利用できる便利な機能

１．ホワイトボード機能／資料共有

白紙のホワイトボードに板書をする、またはキーボードによるテキスト入力を行い

参加者同士で情報共有を行えます。

アジェンダや会議資料をホワイトボードに表示すれば、資料を使った会議を行うことができます。

VQSコラボのホワイトボード機能は、帯域をほとんど使いません。

そのため、通信環境の良くない拠点・地域間でのご利用の場合でも、VQSコラボの映像と音声によるコミュニケーションができれば、普段と変わらないレスポンスでご利用いただけます。

２．ホワイトボード／指示棒

アジェンダや会議資料をホワイトボードに表示する場合、指示棒をご利用ください。ホワイトボードのどの部分を説明しているのか、会議参加者全員で意志疎通を行えます。

３．Webナビゲート機能

会議資料としてWebページを提示できる機能です。Webページを見せながら解説することができます。

４．ビデオ配信機能

カメラ映像の代わりに、動画データや音声データを配信できる機能です。配信しながらマイクで解説をすることもできます。

VQSコラボのビデオ配信機能は、カメラ映像のかわりに動画データや音声データを配信するため、余計な通信帯域を利用せずに配信を行うことができます。

○ご利用方法

1. 新規のお客様

VQSコラボのご契約が必要です。お気軽にお問合せください。

2. ご契約中のお客様

環境のバージョンアップが必要です。弊社営業担当またはご購入元の販売店様にお問い合わせください。

＜デバイス別インストール方法＞

1. Windows

お客様専用ポータルサイトからダウンロード・インストールしてください。

2. iOS (iPad、iPhone)

App Storeからダウンロード・インストールしてください。

○動作環境

1. Windows

OS: Windows Vista (32bit)

Windows 7～10 (32bit/64bit)

CPU: Pentium 4 (HT) / Celeron-M以上 (デュアルコア推奨)

メモリ: 1GB以上

ブラウザ: Internet Explorer 6～11、Firefox、Google Chrome (一部機能制限あり)

その他: マイク・スピーカが必要です。

2. iOS (iPad、iPhone)

OS: iOS 7以降

その他: Wi-Fi環境でご利用ください。

対応機種:

iPad (第3世代～)

iPad mini (第1世代～)

iPhone 4s～

推奨機種:

iPad (第4世代/Retinaモデル)

iPad Air

iPad mini (第2世代/Retinaモデル)

iPhone 5～

※ iPad、iPhoneはApple Inc. の商標です。

◆「VQSコラボ」とは

「VQSコラボ」は、マルチデバイス対応の多地点でのリアルタイムコミュニケーションを実現するツールです。音質や画質、使いやすい手書き対応ホワイトボード、低帯域への対応。徹底的に「使えるWeb会議」を実現します。

◆「VQSコラボ」の特長

- ①FM放送・CDに匹敵する、聞き取りやすく長時間でも疲れない、きれいな音質
- ②簡単に資料共有ができるホワイトボード（各社手書きデジタルペンに対応）
※特許番号：4360547
- ③用途・帯域に合わせた、様々なタイプの会議室
※1：3～1：45用途に合わせた会議室を、自由に利用できます。
- ④低帯域でも安定した動作を実現する通信帯域制御
- ⑤教育に特化した、教育事業向けバージョンも用意

◆お問い合わせ先

VQSマーケティング株式会社

担当：西島（E-Mail：s.nishijima@vqs-m.co.jp）

所在地：東京都千代田区神田佐久間町4-6 東邦センタービル502

TEL：03-5829-6251

FAX：03-5829-6252

◆会社概要

VQSマーケティング株式会社

- （1）社長：取締役社長 向井 猛彦
- （2）本社所在地：東京都千代田区神田佐久間町4丁目6番地
東邦センタービル502
- （3）設立日：2011年1月11日
- （4）事業内容：「VQSコラボ」および関連機材の企画、販売、サポート
- （5）URL：<http://www.vqs-m.co.jp/>
- （6）Facebook：<http://www.facebook.com/vqsmarketing/>